

学習内容報告書 フォーマット

学校名	玉野市立築港小学校
授業者	永間 康平

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

船をつくる仕事～玉野から世界の海へ～

1-2. 学年

3年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

社会科・総合的な学習

1-4. 単元の概要

玉野市には、三井E&Sホールディングスという大企業があり、市の基幹産業となっている。副読本「わたしたちの玉野」において、「市の人たちの仕事とくらし～工場の仕事」のなかで「船をつくるしごと」の学習をするが、そこで取り上げられているのが三井造船である。

1917年（大正6年）に、瀬戸内海という海に面した玉野市の地の利を生かし、大規模な造船所が造られたことを中心に、船の作り方や働く人々の様子を学ぶ。そして、瀬戸内海という海があり、造船所が作られ、そこで造られた船が世界の海で海運業を支えていることを知り、海のあるわたしたちの町、玉野を愛する心情を育てる。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

三井造船について調べたり見学したりすることで、わたしたちの住む玉野市が瀬戸内海という海と密接に関わっていることに気付くことができるようにする。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

瀬戸内海という海がわたしたちの住む町、玉野にあることで、市の基幹産業である三井造船が造られ発展してきたことを知り、造られた船が世界の海で海運業を支えていることに誇りを持ち、玉野を愛する心情を育てる。

1-7. 単元の展開（全10時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<p>○三井造船の様子について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造船所の前を通ったことがある。 ・広くて大きい。 ・どのようにして船を造っているのだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・知っていることを話し合い、副読本「わたしたちの玉野」で、工場の様子を調べるようにする。 ☆三井造船の規模について知ることができる。
2	<p>○三井造船で働く人の様子について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの人が働いている。 ・玉野市内はもちろん、市外からも働きにきている。 ・親戚や知り合いが働いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・副読本「わたしたちの玉野」で、市内外からたくさんの人が働きに来ていることを調べるようにする。 ☆玉野市内、玉野市外からたくさんの人が働きにきていること、身近な人も働いていることを理解することができる。
3	<p>○船は、どのようにして造られるのかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計から引き渡し式まで、多くの工程がある。 ・船を造るには、いろいろな工夫や努力がある。 ・できた船は、国内のみならず外国へも送られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・副読本「わたしたちの玉野」で、船が造られる工程について調べるようにする。 ☆船が造られる工程を知り、造られた船は国内外に送られていることを知ることができる。
4 5	<p>○なぜ、玉野市に三井造船が造られたのかを調べるとともに、三井造船の人からも、そのことについて話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内海という穏やかな海があったから。 ・造船所を造りやすい広い土地があったから。 ・気候が温暖で造船に適していたから。 ・材料を運んでくる神戸港から近かったから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館資料「玉野市史」「写真集玉野」等の資料を利用し、三井造船が造られた経緯について調べるようにする。 ・講師として、三井造船の方にゲストティーチャーとして来ていただく。（その際、あらかじめ質問したいことを用意しておく。今年度は、クロムブックのジャムボードで質問を考えた。） ☆資料を活用し、進んで調べることができる。 ☆三井造船の人の話を聞いて、調べたことと比較しながら、玉野市に造船所ができた経緯について知ることができる。
6 7	<p>○三井造船に見学に行く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海のすぐそばに工場がある。 ・工場はとても大きくて広い。 ・進水式がすごい。 ・たくさんの人が働いている。 ・ここで造られた船が外国にも送られる 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に造船所を見学することで、その規模、働く人の様子などについて実感することができるようにする。 ☆船を造る工場・はたらく人の様子に興味・関心をもって見学することができる。



(見学の様子)

- 調べたことや見学したことを新聞にまとめ、発表会で伝え合う。(今年は、他の小学校と Meet をつないで発表会を行った。)
- ・瀬戸内海があるから三井造船が玉野市に造られた。
 - ・造られた船は国内外の海運業を支えている。
 - ・玉野市はすごい。

- ・これまでの学習のまとめとして、個人で新聞を作り、発表会で伝え合うようにする。
- ☆瀬戸内海があつての玉野市であり、玉野市を誇りに思うことができる。

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

- ・なぜ玉野市に三井造船ができたかを調べよう。
- ・三井造船の人の話を聞こう。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 前時までの学習を復習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海のスグそば <p>2 めあてをつかむ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ玉野市に三井造船が作られたか調べよう。 ・三井造船の人の話を聞こう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・海があるから <p>3 資料やクロムブックを使って調べる。</p> <p>4 調べて分かったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・穏やかな瀬戸内海に面している。 ・海上交通に便利な位置にある。 <p>5 質問を考える（ジャムボード）</p> <p>6 三井造船の人の話を聞く。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 5px 0;"> <div style="background-color: #00a0e3; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> 船を作るのに何日かかりましたか </div> <div style="background-color: #92d050; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> どうして三井造船ではたらこうとおもったんですか </div> <div style="background-color: #e91e63; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> 今まで一番しんどかったことは、なんですか </div> </div> <p>6 本時のまとめをする。</p>	<p>○三井造船がどんな場所にあるかを想起することで、本時のめあてをもちやすくする。</p> <p>○岡山市や倉敷市等の大きな町ではなく、なぜ玉野市に大きな造船所が作られたかという投げかけをすることで、予想しやすくする。</p> <p>○図書館資料「玉野市史」「写真集玉野」やクロムブックを活用して調べる。</p> <p>○瀬戸内海に面している等、地の利を生かして作られたことを押さえるようにする。</p> <p>○ゲストティーチャーの話を聞くことで、地の利を生かして造船所が作られたこと以外の理由（温暖な気候）や歴史について知ることができるようにする。</p> <p>☆なぜ玉野市に三井造船が作られたか、調べたことや聞いた話から理解することができる。（ノート）</p> <p>○自分たちの言葉でまとめることができるようにする。</p>
<p>玉野市に三井造船が作られたのは、は瀬戸内海に面していて、海上交通の便がよく、船を作るのに気候が適していたから。</p>	

3. 今回の活動の自己評価

社会科の内容と同時進行でき、授業としても進めやすかった。子ども達も取り組みやすい内容なのでとても真剣に取り組むことができた。クロムブックや資料を使って調べることで「三井造船さんの話を聞きたい。」「早く見学に行きたい。」という気持ちになっていた。見学も楽しそうにできてとても良かったと思う。そこから、自分たちの住む玉野市にこんなすばらしい工場があることに驚き、誇りに思う心情をしっかりと育てることができて良かったと思う。

4. 今後の課題

三井造船では、船の大まかな過程を見ることができ、子どもたちも興味関心があったので、部品になる部分を作っている、宮原製作所も見学することが有意義であると思った。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。